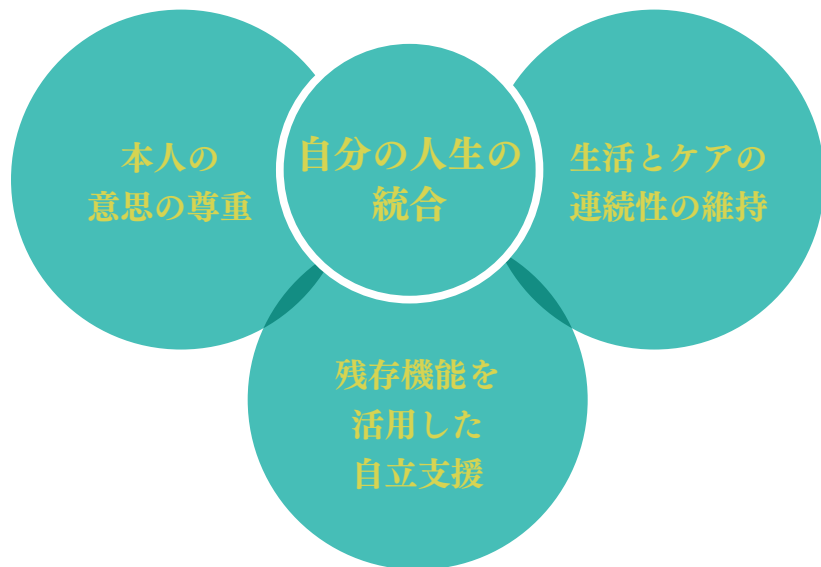


# 日本型CCRCの三大原則



日本型CCRCの理念は

「高齢者が価値があったと受け入れられる人生」を支援することです。

- ・自分の人生はよいことも、辛いこともあった。
- ・さまざまな方にお世話になったが自分も社会に貢献できた、
- ・生まれてきてよかった

と思えることを支援することになります。

そして、上図に示すように、「本人の意思の尊重」、

「残存機能を活用した自立支援」、「生活とケアの連続性」を

日本型CCRCの三大原則とし、

「地域包括ケアシステムに貢献するサービスの提供機関」です。

日本の介護を次のステージに引き上げる

# 日本型CCRC

～これからの高齢者ケア介護2.0へ向かって～

## 介護は 利用者が主役の 時代へ。

「管理される立場」から「自立する立場」へ。

「家族の選択」から「本人の選択」へ。

「最後まで健康で自立して生きたい」

という声に応え、

健康寿命を伸ばす。

発行者 自立型高齢者住宅推進協議体

- ・特定非営利活動法人高齢者健康コミュニティ
- ・社会医療法人天神会
- ・医療福祉経営マーケティング研究会

お問合せ 特定非営利活動法人高齢者健康コミュニティ

〒812-0013  
福岡市博多区博多駅東1丁目12-5 博多大島ビル503  
TEL:092-292-3333

※この事業は「福岡県共助社会づくり基金」を活用して実施しています。

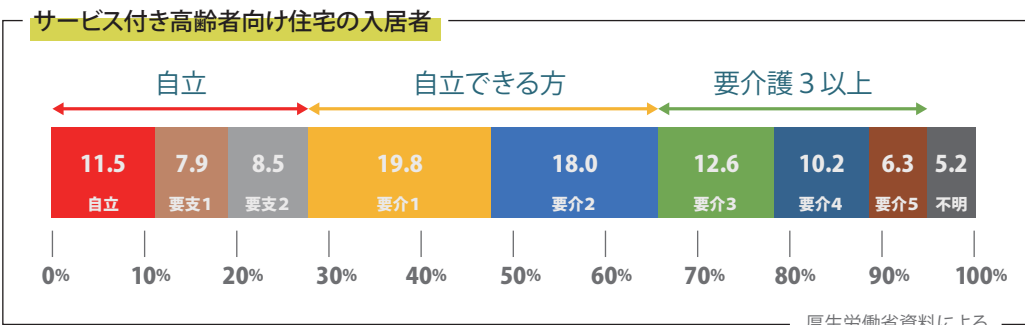
自立型高齢者住宅推進協議体

# 課題

## 日本の介護施設は「健康で自立して生きたい」に応えられていません。

自立できる高齢者が、介護施設としての有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅に多く入居・生活しています。自立した高齢者、および何らかの支援を受ければ自立した生活ができる高齢者が、介護が必要な要介護者と混在しています。

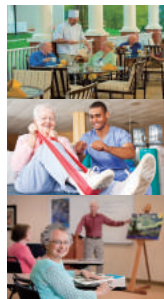
### 6割の自立できる方が要介護者を支援する施設で生活をされています。



## CCRC Continuing Care Retirement Community (高齢者に継続したケアを提供するコミュニティ)

## 世界の福祉先進国には「健康で自立して生きたい」に応えられる環境があります。

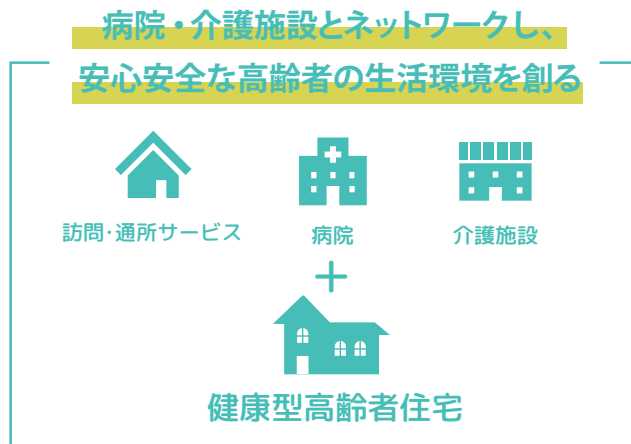
アメリカにはCCRCという住まいの形態があります。住民が自立して生活できる段階から最期まで、同じコミュニティ内で住居、生活支援、予防、医療、介護サービスなどを総合的に提供していくサービスのシステムです。絵画教室や、編み物、チェスなどのさまざまなサークル活動や、家庭菜園、フィットネスジムなどの心と体の健康を充実させられる設備、また、友達と語らえるお洒落なカフェや本格的で健康的な食事ができるレストランが揃い、ゆったりと楽しみながら暮らせる環境です。



# 解決策

## 日本型 CCRC・健康型高齢者住宅で「健康で自立して生きたい」に応えます。

健康寿命を伸ばす「居心地の良い場所でニーズに応じたケアを受けたい」という希望に応えるために、地域コミュニティの中にある医療機関、介護施設に、「健康型高齢者住宅」を加え、「緊密なネットワークを構築した日本型CCRC」を構築します。



日本型CCRCの高齢者住宅では、一人暮らしが不安、困難になった方へ、食事、移送、非常通報、生活相談等の生活支援サービス、介護予防、健康管理サービス、および、生きがい・趣味活動のサービスを提供します。

医療機関と連携し、適時、必要な医療を提供し、できるだけ健康で自立した生活ができるサービスの

充実した「住まい」を提供することで低栄養、筋力低下を予防し、健康寿命を延伸します。もし介護が必要になっても医療法人が持つ介護サービス、介護施設を利用できるので、最期まで安心した生活ができます。

	今までの高齢者ケア	→	これからの高齢者ケア「介護2.0」
モデル	管理モデル 「管理」される立場	→	自立モデル 「自立」する立場
目的	介護・障がいの管理	→	生活の質・人生の質の向上
ケアの決定者	家族	→	本人
場所	介護施設	→	健康型高齢者住宅・自宅
ケアの優先順位	介護優先	→	自立支援優先
スタッフの役割	管理・お世話	→	生活支援・予防支援
本人の役割	指示の遵守	→	自立して生活・人生を楽しむ